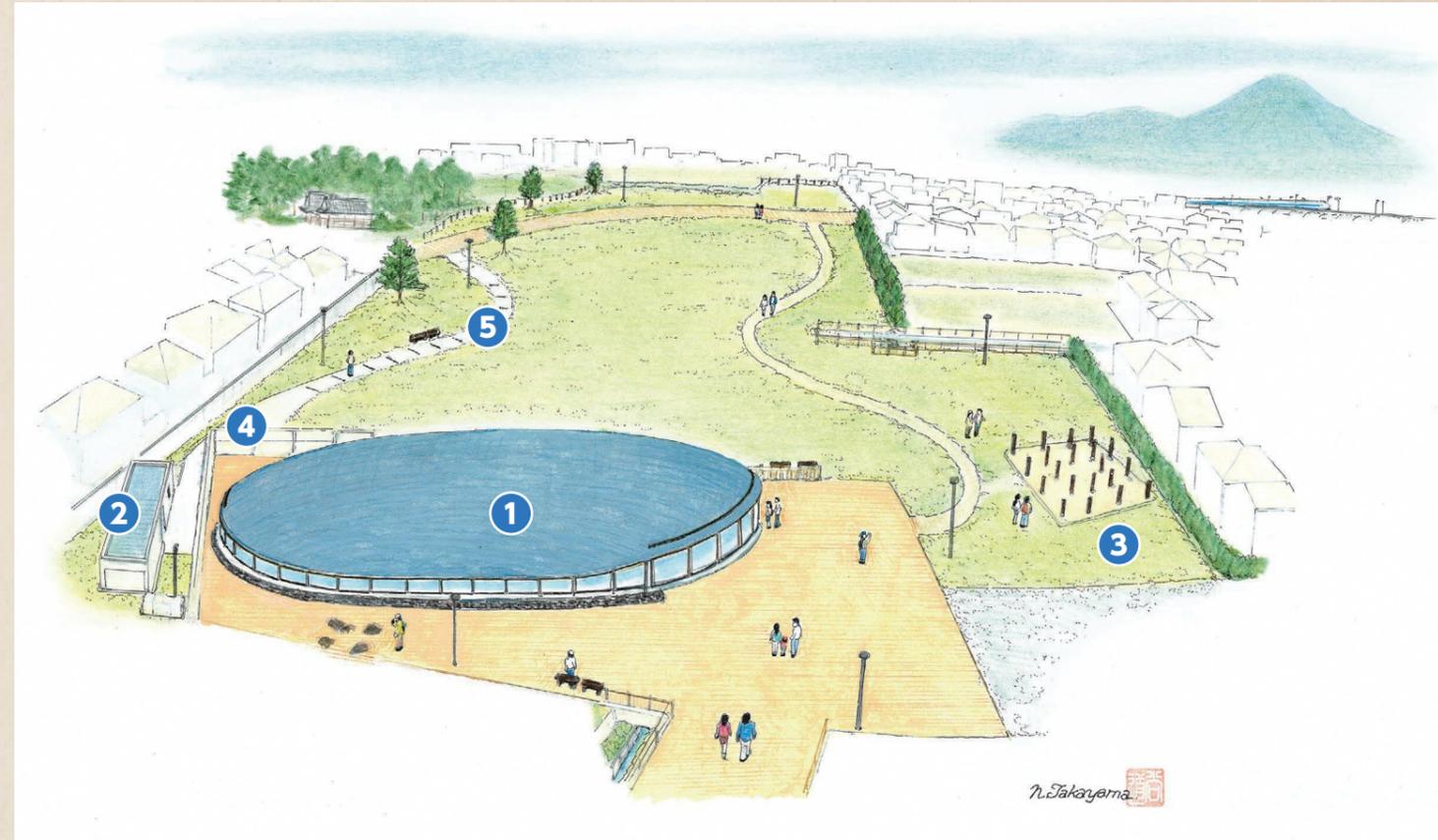


守山市伊勢遺跡史跡公園



❖ 守山市伊勢遺跡史跡公園の説明

建物

- ①遺構展示施設 映像展示、遺構レプリカ展示、ジオラマ展示等をおこなっています。
- ②管理棟 事務室、トイレがあります。

屋外展示

- ③楼観跡立柱表示 公園の東側では一辺約9mの正方形の総柱建物SB-10(楼観)が発見されています。楼観の柱の位置がわかるように立柱で表示しています。
- ④方形区画と板塀 伊勢遺跡の中心部には、柵で区画された中に大型建物が配置されている「方形区画」と呼ばれる特殊な空間があります。公園内に板塀の一部を復元し展示しています。
- ⑤弧状の園路と芝生広場 遺構展示施設の北側に広がる芝生広場は来園者の憩いの場として利用いただけます。

守山市伊勢遺跡史跡公園

所在地 滋賀県守山市伊勢町80番地
開館時間 午前9時から午後5時まで
休館日 火曜日、祝日の翌日、年末年始
 ※公園の入口も閉鎖します。
入館料 無料

TEL・FAX 077-599-3223



いせ ❖ 伊勢遺跡とは

- 伊勢遺跡は、東西約700m、南北約450m、面積約30haにおよぶ大規模な遺跡で、弥生時代後期の集落遺跡としては、国内最大級の遺跡です。
- 伊勢遺跡は弥生時代から古墳時代への移行期(紀元1世紀後半から2世紀末)に発達した遺跡であり、伊勢遺跡で発見された大型建物群は、琵琶湖南部地域で形成された「國(クニ)」の政治や祭祀を執り行う重要な施設だったと推定されており、我が国の形成過程を考えるうえで重要な位置を占める遺跡です。



❖ 遺構展示施設

展示台

館内に3つの展示台を設け、伊勢遺跡をはじめ、服部遺跡や下之郷遺跡、下長遺跡など、守山市内の代表的な遺跡から出土した遺物を展示し、展示を通して弥生時代から古墳時代の遍歴をたどることができます。

また、館内中央の展示台には、遺跡の広がる伊勢町・阿村町の住民有志による伊勢遺跡保存会が製作された精巧なジオラマを展示しています。

展示台① 市内遺跡遺物展示 服部遺跡(弥生時代前期) 下之郷遺跡(弥生時代中期) 伊勢遺跡(弥生時代後期)

展示台② ジオラマ展示

展示台③ 下長遺跡(古墳時代)遺物展示



❖ 遺構レプリカ展示

大型建物SB-1の真上に遺構のレプリカを復元展示しています。遺構レプリカの上にガラス床を設置し、その上を歩くことで伊勢遺跡の建物の大きさを体感することができます。



❖ 映像展示

施設の天井面に大画面の迫力ある映像を投影し、伊勢遺跡のなりたちや特徴、歴史的役割などについてわかりやすく解説します。



❖ ジオラマ展示

伊勢遺跡を忠実に再現した精巧なジオラマを展示しています。ジオラマは、地元の伊勢遺跡保存会が、建築史学者による監修を経て1/120スケールで制作されたものです。

